

第五回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 会議録

1. 会議概要

(1) 開催日時：令和4年11月18日（金） 14：00～16：45

(2) 開催場所：千曲市役所 3階 301大会議室 AB

(3) 出席者

協議会委員：佐々木委員、小沼委員、北村（勝）委員、瀬在委員、諸井委員、塚田委員、
小林委員、高村委員、新井委員、早志委員、山崎委員、清水委員、
千曲川河川事務所 寺田副所長、
湯本建設部長、島田教育部長、栗原企画政策部長、
竹内市民環境部長

事務局：町田スポーツ振興課長、青木主事
中村生活安全課長、中山市民生活係長、丑澤主事、
吉池都市計画課長、山本技幹兼計画係長、轟施設係長、池田主任、
まちづくりアドバイザー 松林氏、
信州地域デザインセンター 河原氏、竹内氏、調氏、
株式会社KRC（小林、藤岡、東海林）

(4) 欠席者

協議会委員：林委員、北村（早）委員、児玉委員
千曲建設事務所 長澤（徹）企画幹兼整備課長、
宮尾健康福祉部長

事務局：小山施設整備係長、中村スポーツ振興係長

(5) 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第五回協議会の位置づけ
 - (2) これまでの経過
 - (3) 千曲市総合運動公園基本構想（素案）の検討
 - (4) 今後の予定について
- 4 その他
- 5 閉会

(6) 提示資料

- ・ 第五回協議会 送付資料一覧表
- ・ 千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 第五回協議会 次第
- ・ 資料1 基本構想策定までのフローと第五回協議会の位置づけ
- ・ 資料2 第四回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会会議録
- ・ 資料3 サウンディング市場調査等報告書
- ・ 資料4 総合運動公園基本構想ニュースNo.2
- ・ 資料5 千曲市総合運動公園基本構想（素案）
- ・ 資料6 今後の予定について

2. 議事に関する質疑応答・意見交換

(1) 第五回協議会の位置づけ

<資料1説明後>

- ・ 質疑無し

(2) これまでの経過

<資料2、資料3、資料4説明後>

佐々木会長：国のサウンディング型市場調査はもう終了なのか。

→事務局：国のサウンディングはこの後は個々に進めていくという仕組みのようである。

(3) 千曲市総合運動公園基本構想（素案）の検討

<資料5p1~41（はじめに、第1章、第2章）について>

北村委員：p5 白鳥園の項目で下から 11 行目にその後地元住民や関係者からの強い要望とあるが、「関係者」という表現は曖昧ではないか。当時の記憶では「議会からの要望」と認識しているので直していただきたい。

同ページ下から 9 行目「総合運動公園構想の策定も念頭に置きつつ」という文言は不要ではないか。白鳥園をつくるときに総合運動公園構想はなかった。当時は敷地全体を県から買い取った。元は県所有の土地のため全ての土地を有効活用しなくてはいけないという前提があり、公園化して「公園のなかの温泉」というコンセプトで事業化を進めてきたが、資金難で公園をつくれなくなったため、次の「再整備は全体の3分の1に留まり」につながるの、もう1度精査願いたい。

→事務局：2点とも精査していきたいと思う。

佐々木会長：確認と精査願いたい。

新井委員：p7「舞台は戸倉上山田地区」という題など、千曲市全体として捉えられない。千曲市の総合運動公園構想という基本構想を立ち上げているなかで、千曲市としてこの地域でこれをするというところを長年の夢というところの一つで収めてしまうのは乱暴ではないか。20年前の千曲市合併時に地域ごとにどのようにするという構想があったことは知っているが、千曲市全体の構想ということになると、内容が戸倉上山田地区に集中していて人口の65%を占めている旧更埴地域からすると違和感がある。千曲市全

体の事業であり、戸倉上山田地区ではこのような事業をやっていくといった流れがよいのではないかと。この構想が、全市的に受け入れられるものとなるには千曲市全体から戸倉上山田地区に落とし込んでいく流れがなければ難しいのではないかと。文言等工夫し、オール千曲といった格好にしたらどうか。

→事務局 : 戸倉上山田地区限定と捉えられるような表現になっているので、千曲市のなかでの戸倉上山田地区という表現になるように少し工夫をしたいと思う。

新井委員 : 前回の議事録等でも体育館の話が出ているが、スポーツ施設と関連させて千曲市の全体像をみせながら、戸倉上山田地区でこのようなことを考えるとしたほうがわかりやすいと個人的に思う。p41以降の基本構想等にも触れられてくると思うので、その辺を踏まえたものしていただきたいと思う。

佐々木会長 : 千曲市全体を見据えた基本構想の文章のほうがよろしいので、修正できるところは修正いただきたい。

北村委員 : p6 千曲川についての表記、「水害という危険」、「危ない場所のイメージが先行」という言葉は削除してよいのではないかと。川が危ない場所という前提をつくってしまうのはいかがかと。

→事務局 : 災害は皆さんご承知の部分はあると思うが、たしかに「危ない場所」という記載は負のイメージとして捉えられるかと思う。アンケートのなかでもとくに若い人たちから「危ない場所」というイメージはあるが、その上の世代にはあまりないと思うので負のイメージにならないように工夫したいと思う。

佐々木会長 : 基本構想なので、危険という言葉をおそらくあまり強調する必要はないと思うので文章の修正をお願いしたい。

清水委員 : p18 に千曲川を中心にした取組に関しては内容豊富だが、白鳥園エリアや戸倉体育館エリアでの取組があれば付け足してはどうか。

戸倉体育館エリアを合宿利用だけに使っていくような印象を受けた。「合宿」が前面に出すぎているのではないかと。

→事務局 : 千曲川周辺でのアクティビティについては川との関係が多く出てきている。イベントとすれば千曲川ハーフマラソン等になってくると思うので、少し肉付けを考えたいと思う。

合宿については、事務局では意識的ではなかったがそう感じられるのであれば表現を工夫したいと思う。

清水委員 : 文章として残ってしまうと、その方向性になってしまうというイメージが付きかねないので改めていただきたい。

→事務局 : 全体のなかで少し調整をしたいと思う。

佐々木会長 : p38 下のグラフで回答数がおかしいのではないかと。確認いただきたい。

→事務局 : 指摘箇所について回答数を訂正させていただき、お詫び申し上げたい。回答率は記載のとおりで、回答数に表記の誤りがある。

北村委員 : p9、10のSDGsについて内容の精査したほうがよい。17項目すべてを当てはめていかなくとも、当てはまるもののみの方が、説得力があるのではないかと。無理やり当てはめている感じや表現がよくわからないものは、違和感があるのではないかと。

佐々木会長 : たしかにすべてに当てはめなくてもよいと思うがいかがか。

→事務局 : すべての項目について対応を考えていたが、わかりにくくなる部分もあるので調整をしたいと思う。

<資料5 p42~46 (第3章のコンセプトや「つながる」部分) について>

新井委員 : 総合運動公園の計画をつくるにあたり「スポーツツーリズム」、「MICE (マイス)」といった文言等が p43 に入るようなかたちをとっていただきたいがいかがか。

→事務局 : p45 の②スポーツ×温泉はそういった意味の表現であった。スポーツツーリズムという単語を交えてもう少し表現の工夫、文面の作り方などの調整をかけていきたいと思う。

新井委員 : ②は非常にわかりやすく書かれていてありがたいと思うが、②に入れるのではなく、p43 の3段落に分かれている前段部分に千曲市全体のスポーツツーリズムを通じた地域活性化を図っていくという文言があると②がよりよくわかると思う。「みんなが集い・憩い・楽しめるコミュニティスポーツパーク」というコンセプトの説明だと考えているが、この協議会のなかでスポーツ通じた地域の活性化や経済の発展等を考えていくようになっていたと思うので、千曲市全体としてスポーツツーリズムを推進していくというような文言を最初に入れながら②の表現につながるとよいと思うがいかがか。

→事務局 : 了解した。表現等を工夫すれば次につながっていくと思う。

新井委員 : 加えて、p45 について、これでは戸倉体育館、温泉、白鳥園、河川敷が繋がればよいというイメージに捉えられてしまう。全市的な「つながる」にできないか、地区内エリア内だけで「つながる」ような解釈になるような表現になっているのではないかと。千曲市全体というふうにしていただけないか。

小沼委員 : 来年1月8、9日にU-18フットサルリーグチャンピオンズカップがことぶきアリーナで開催される予定で、300人程度が戸倉上山田温泉に泊まることになっている。大会誘致等を含めスポーツ利用を通じて人を呼び込みどれだけ地域で消費してもらうかがスポーツツーリズムの最終的な目的ではないか。千曲市としてスポーツツーリズムどのようにして取り組むのかをさらに総合的に表現してもよいのではないかと。

北村委員 : 新井委員のおっしゃることについて、p33に千曲市内の主要なスポーツ施設が書かれているが、千曲市内全部のスポーツ施設が有機的につながり、この地区にスポーツ施設の構想ができ、この総合運動公園がキーになり、市内の施設が連携をしていくような絵を一つ加えるとわかりやすいのではないかと。

新井委員 : 千曲市でスポーツツーリズムを推進していくなかで、整備される総合運動公園、温泉、市内ほかのスポーツ施設等を活用することによっていろいろな大会がこの地域で開催できるのだというビジョンを、市民だけでなく経済界等にも見せる必要があるのではないかと。

→事務局 : ことぶきアリーナであれば全国大会規模の大会を開催することができる。p46 のなかでも地域に特化したような表現になっているが、目指しているところはそうした方向であると思う。よいアイデアをもち合わせておらず申し訳ない。スポーツ施設と宿泊施設利用を一体的に取り組むように検討したいと思う。

→事務局 : 全体のスポーツツーリズムの関係からいうと、スポーツ推進計画に謳われるような内容になるのかと感じている。戸倉上山田地区限定に見えてしまうことについて、p55、56 には限定したという表現ではなく、そこから発信していく、地域全体の活性化につなげる、いろいろなところと関わりをつくるという文言があるので、p45、46 の議論いただいた部分を後半のページで表現を工夫できればよいと思っている。

<資料 5 p47~48 (第 3 章エリア別構想「戸倉体育館エリア」) について>

・質疑なし。

<資料 5 p49~50 (第 3 章エリア別構想「白鳥園エリア」) について>

・質疑なし。

<資料 5 p51~52 (第 3 章エリア別構想「河川敷エリア」) について>

寺田委員 : 基本構想に千曲川を活かしていただいていることをありがたく思う。整備に向けての検討方針は具体的だと思っている。そうしたことへの支援制度等もあり、活用いただくことは適切だと思う。記載されているように、まずは機運づくり、体制づくりである。地域のなかで生きる河川敷エリアになったとしても、持続的に活用できるためにも体制づくりから行っていくことは過去のいろいろな整備から踏まえても正しいやり方だと思うので、千曲川河川事務所も一緒にやっていきたいと思う。

小沼委員 : 年に 1 度行われる花火大会の花火がこの河川敷から打ち上げられる。来年の大会の計画をしているが、今後も使用できるのか。

→事務局 : 河川敷については、いろいろなゾーンが整備されたときに現実的な部分は出てくると思うので、きちんと対応ができるとよいと思っている。

<資料 5 p54~58 (第 4 章) について>

新井委員 : 構想の実現に向けてということになると、いままでの協議会のなかで市外の方を招き入れて経済効果を期待するという議論が、基本構想のなかに盛り込まれるべきではないか。千曲市全体としての公園整備後のビジョンが必要ではないか。ここに書いてあるので基本構想には書かなくてもよいというのは違うのではないか。

→事務局 : 総合運動公園構想というものにある程度限定をしているが、上位計画である千曲市総合計画から紐づいていくような表現になるように肉付けしていきたい。

清水委員 : 千曲市民はスポーツで千曲市がどれだけ潤うのかを知らないのではないか。スポーツをする、みだけの運動公園構想ではなく、スポーツで市外から人を呼び込むことで、温泉街に泊まるなど、地域に波及効果があるということをさらにアピールすることも必要なのではないか。

早志委員 : 戸倉地区で白鳥園の広場を利用して5月5日の子供の日に 2,000 人くらい集まるお祭りを開催していて、いままでは千曲市から補助金をいただいていたが、コミュニティに対する補助金はカットさせていただきたいという電話を今いただいた。公園を利用してイベントをするための公園をつくり、地域のためにということが謳われているが、地域行事には補助金が出せないという市の姿勢は構想に描いているコンセプトとは矛盾しているのではないか。この構想では、経済効果を謳ったほうが市のコンセプトに近い状況で、市は動いているのではないかという印象をもっている。

→事務局 : 白鳥園エリア、多目的広場の整備後に、地域の活動とどのようにつなげていくかということは必要だと認識している。

佐々木会長 : 外から人を呼び込んで経済効果を担ってもらう側面と、市民の利用という2つの側面の双方のバランスをとりながら書き込んでほしい。

北村委員 : スポーツ人口をどんどん増やしていくことが行政の使命ではないか。p43、44 に障がい者スポーツについて記述がうすいと思うので、コンセプトのなかに文章やカットに盛り込んでどうか。

→事務局 : 障がい者スポーツについて、多彩なスポーツ交流・コミュニティの部分にすべて含めた意図はあったが、文字表現がなかったということについてしっかり検討したい。

新井委員 : 「産業なくして福祉なし」は行政のあり方だと感じているので、産業がダメージを受けるようなことにならないとよいと考えている。経済を考えたスポーツという視点は、これから必要ではないか。会長や早志委員がおっしゃるように地域があつての企業、地域があつての経済だと思っているのでバランスのとり方は非常に大事だと感じている。

白鳥園エリアに関しては公共交通網形成計画があり、戸倉上山田地域にも一つの交通のハブ的なものが必要なのではないか。そのことを踏まえると、白鳥園エリアについてアクセス道路を早急につくっていくべきではないか。循環バスはSDGsの一環にもなり、交通弱者が集えるところにもつながると思うので関係所管で考えていただきたい。

→事務局 : 公共交通網の関係も踏まえて、白鳥園エリアの集客につなげるためにも道路の重要性も認識しているので検討していきたい。

早志委員 : 区民の方に聞かれたが、パブリックコメントで提出された意見によって実際に変更されたことはあるのか。一般的にパブリックコメントはどのくらいの影響力があるのか。

→事務局 : パブリックコメントの意見は、次回の最後の協議会で修正をかけるかどうかを決定し、届いたご意見とそれに対する回答は市のHPにて公開される。

(4) 今後の予定について

<資料6説明>

- ・ 構想素案修正版を各委員に発送 11 月末
- ・ パブリックコメント 12 月 9 日～1 月 10 日

- ・ 第七回幹事会 1月中旬
- ・ 第六回協議会 2月6日 or 7日
- ・ 特別委員会へ基本構想の報告 3月上旬～中旬
- ・ 総合運動公園基本構想の公表 3月末